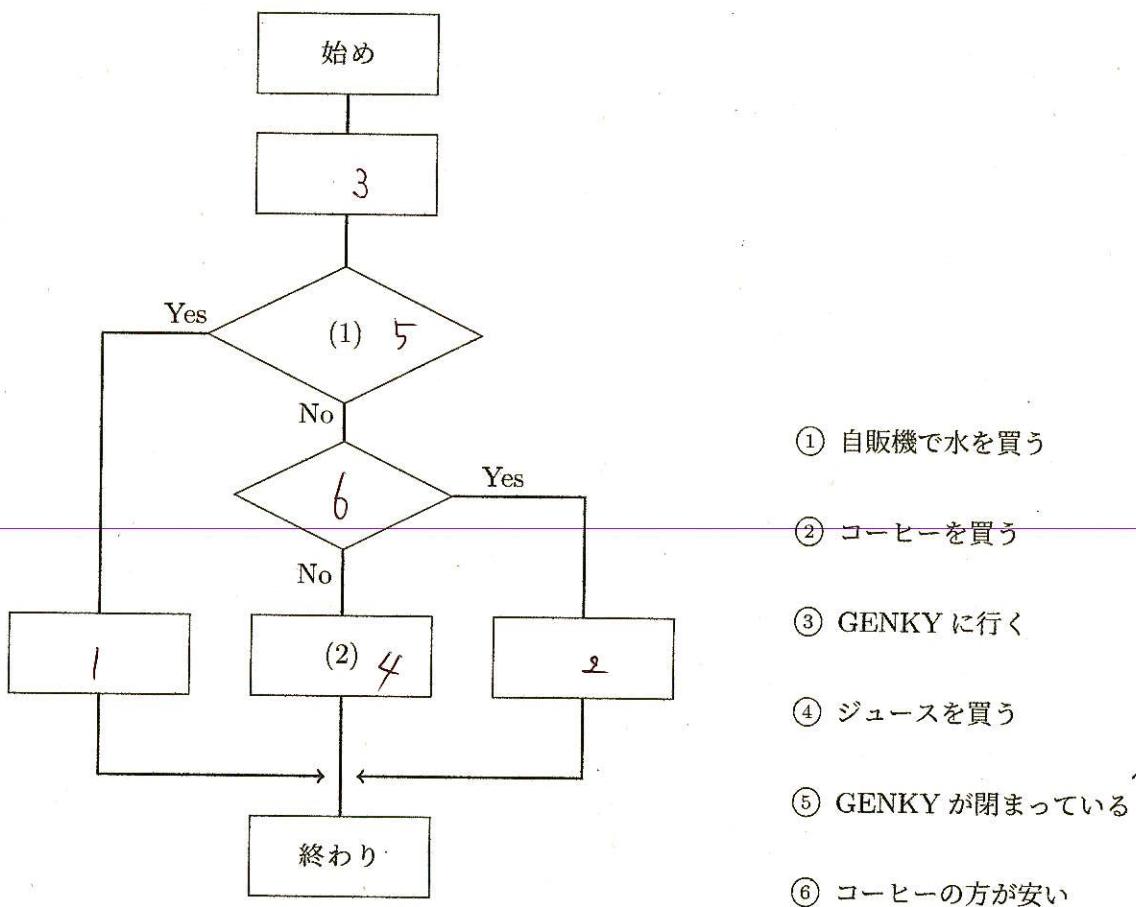


1 フローチャート・論理回路について、各番号に当てはまる数値、記号を解答せよ。【25点】

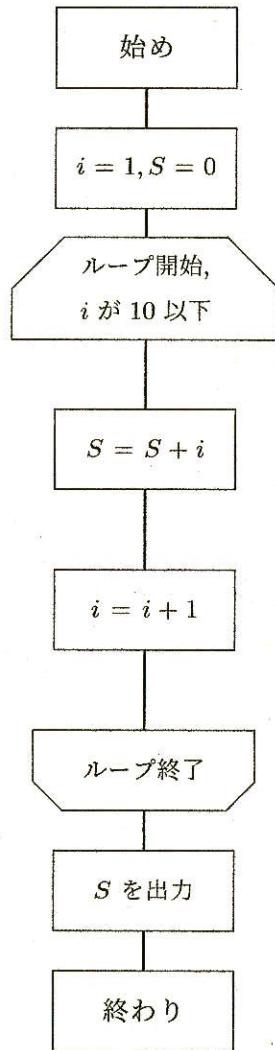
(a) 以下の行動をフローチャート図で表したい。「GENKYへ買い物へ行き、コーヒーとジュースのうち安い方を買う。ただし、GENKYが閉まっている場合は帰りに自販機で水を買うことにする。」

図中の記号に当てはまるものを①～⑥から選べ。



(b) 以下のフローチャートが実行された際に、出力される値として正しいものを選べ。

解答欄 :



$$\begin{aligned}S &= 1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 + 10 \\&= 55\end{aligned}$$

① 1

② 10

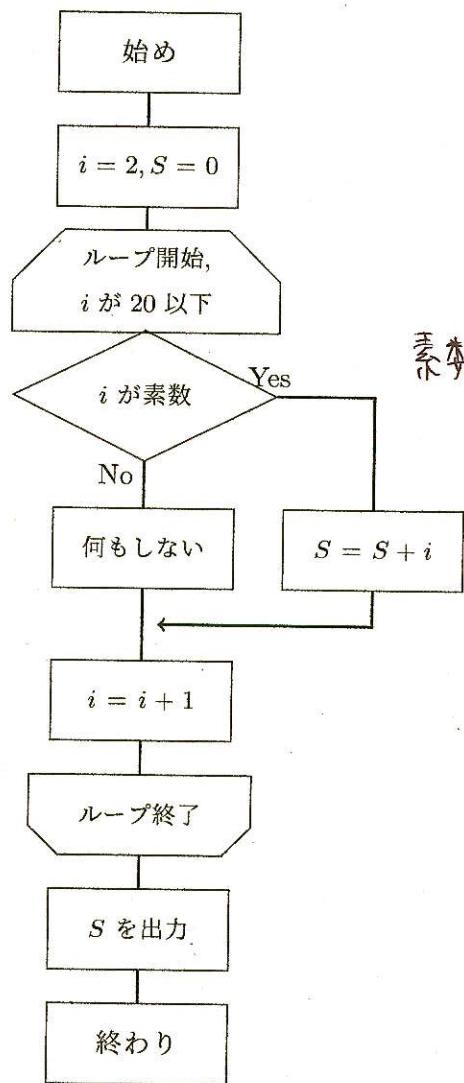
③ 15

④ 45

⑤ 55

(c) 以下のフローチャートが実行された際に、出力される値として正しいものを選べ。

解答欄 : (4)



素数の和.

$$\begin{aligned} S &= \underbrace{2+3+5+7}_{10} + \underbrace{11+13+17+19}_{20+30} \\ &= 60 + 17 = 77 \end{aligned}$$

① 67

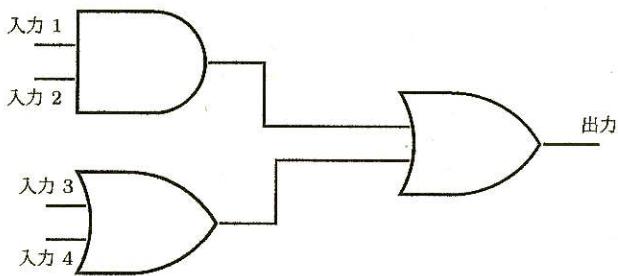
② 77

③ 78

④ 87

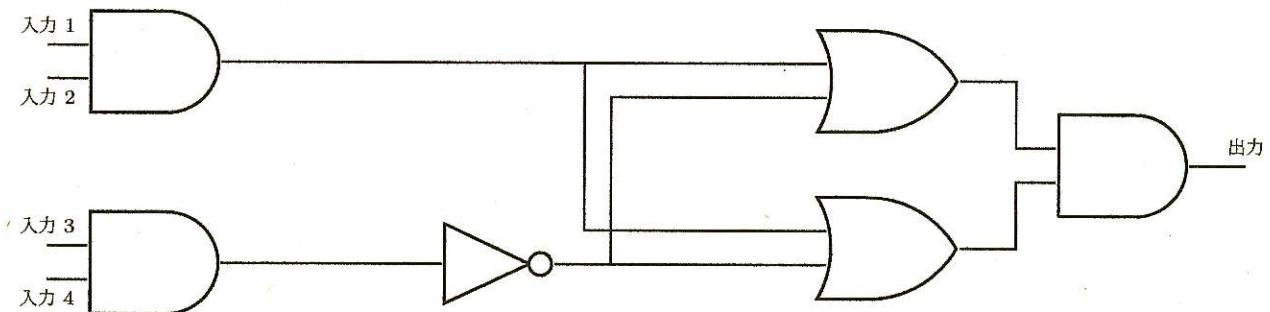
⑤ 88

(d) 以下の論理回路において、表の通り入力をした結果出力される値を求めよ。



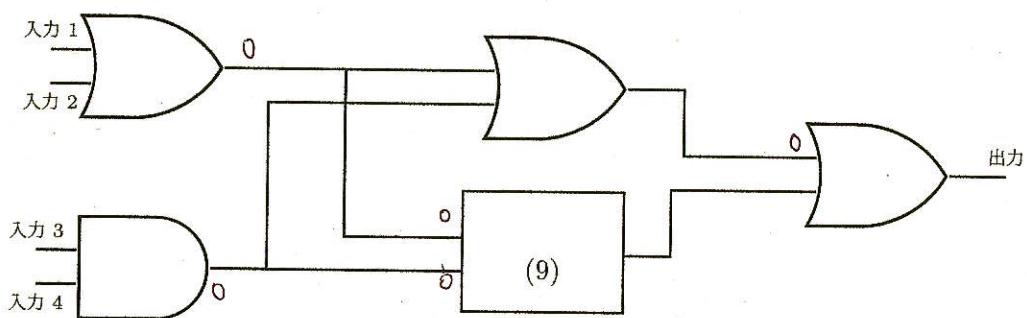
	入力 1	入力 2	入力 3	入力 4	出力
(5)	1	/	1	1	/
(6)	1	0	1	0	/

(e) 以下の論理回路において、表の通り入力をした結果出力される値を求めよ。



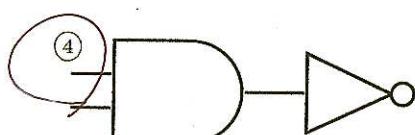
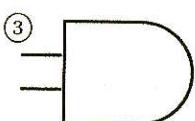
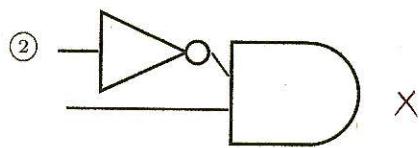
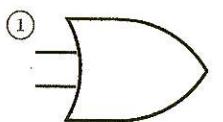
	入力 1	入力 2	入力 3	入力 4	出力
(7)	1	/	1	0	/
(8)	0	0	1	1	/

(f) どのような入力しても 1 が出力されるようにしたい。 (9) に当てはまるものを選べ。



$$\begin{matrix} 0 \\ 0 \end{matrix} \rightarrow \begin{matrix} 1 \\ \wedge \end{matrix}$$

選択肢



⑤ 該当なし

2 各問に答えよ。【25点】

(10) 情報の特性として正しくないものを選べ。

- ① 形がない
- ② 消えない
- ③ 複製が容易
- ④ 伝播しづらい

(11) SNSでのコミュニケーションについて、正しくないものを選べ。

- ① 自身の感情や出来事に関して、できるだけ早く発信する必要がある。
- ② 相手の素性がわからないこともあるため、簡単に信用してはいけない。
- ③ 文字のみで伝えるより、絵文字等を使うことで相手に感情が伝わりやすい。
- ④ 相手に対する誹謗中傷等が、対面時よりも起こりやすい。

(12) 著作権の制限として認められないものを選べ。

- ① 学校の授業での利用。
- ② 有報酬の演奏。
- ③ 引用。
- ④ 個人の私的利用の範囲内。

(13) メディアリテラシーの説明として最も適切なものを選べ。

- ① メディアを利用せずに生き抜く能力
- ② メディアを使って情報発信する能力
- ③ メディアを介して情報を得る能力
- ④ メディアを介して得られた情報を読み解く能力

(14) 情報を評価する手法として適切でないものを選べ。

- ① 誰が発信したのか調査する。
- ② 批判的に読みしていく。
- ③ いつ発信されたのかを調べる。
- ④ 情報を得たら即時に判断する。

(15) 新聞をメディアから見たときのメリットとデメリットの説明として、当てはまるものを選べ。

	メリット	デメリット
①	文字や音声を扱える。	速報性に欠ける。
②	文字や音声を扱える。	記憶容量に限界がある。
③	文字や画像を扱える。	情報の伝達が一方向である。
④	文字や画像を扱える。	記録や保存ができない。

(16) 不特定多数を対象としたコミュニケーションの注意点について適切なものを選んだものとして正しいものを選べ。

- a. デマ情報を流したり、拡散させたりしない。 ○
- b. 会社の信用を損ねるような発言や画像をSNSに投稿しない。 ○
- c. SNSでは、プロフィールやプライバシーを積極的に公開する。 ×
- d. 無責任な発言をしたり、他人を誹謗・中傷したりしない。 ○

① a, b. ② a, c. ③ a, d. ④ b, c. ⑤ b, d. ⑥ a, b, d. ⑦ a, c, d.

(17) 以下のa~cは、情報の残存性、複製性、伝播性のいずれかに該当する。組み合わせとして正しいものを選べ。

- a. 短期間でコンピュータウイルスの被害が世界に広がる。 /伝
- b. 人の噂や誤った情報がいつまでも消えずに残る。 /残
- c. 映画や音楽など市販のコンテンツの違法ダウンロードが後を絶えない。 /複

	①	②	③	④	⑤	⑥
a.	複製性	残存性	伝播性	複製性	伝播性	残存性
b.	伝播性	複製性	残存性	残存性	複製性	伝播性
c.	残存性	伝播性	複製性	伝播性	残存性	複製性

(18) スマホのマナーとして、適切なものを選んだものとして、正しいものを選べ。

- a. 電車内ではマナーモードに設定し、混雑時には電源を切る。○
- b. 人を撮影する場合、公開しなければ、相手の了承は不要である。×
- c. 帰宅途中にメールが届いたため、歩きながら返信した。×
- d. 図書館や映画館では、通話しても良いが小さな声で話す。×

① a. ② b. ③ c. ④ d. ⑤ a, b. ⑥ a, c. ⑦ a, d. ⑧ a, c, d. ⑨ b, c, d.

(19) 「動画、テレビ、文字、DVD、クラウドストレージ、メール」をメディアとしての分類した際に、適切なものを選べ。

選択肢	表現	伝達	記録
①	メール、テレビ	文字、DVD	動画、クラウド
②	文字、テレビ	クラウド、DVD	動画、メール
③	メール、テレビ	クラウド、動画	DVD、文字
④	動画、文字	メール、テレビ	DVD、クラウド
⑤	テレビ、動画	文字、メール	DVD、クラウド

3 以下の問い合わせに答えよ。【35点】

(20) エラーが生じると考えられるものを選べ。

a

```
1 a=3; b=5  
2 print(a+b)
```

OK

c

```
1 a=3; b=4; c=6  
2 print(abc)
```

X

b

```
1 a=9; b=4; c=2  
2 print(a**b**c)
```

OK

d

```
1 a=1; b=2; c=1  
2 print(a/b**c)
```

OK

(21) エラーが生じると考えられるものを選べ。

a

```
1 n=int(input())  
2 if n<0:  
3     print("Hello")  
4 else:  
5     print("See you")
```

OK

b

```
1 n=int(input())  
2 if n==0:  
3     print("Hello")  
4 else:  
5     print("See you")
```

OK

c

```
1 n=int(input())  
2 if n=2:  
3     print("Hello")  
4 else:  
5     print("See you")
```

```
1 n=int(input())  
2 if n>0:  
3     print("Hello")  
4 else:  
5     print("See you")
```

OK

(22) Helloと10回表示するプログラムをすべて選べ。

a

```
1 for i in range(10):  
2     print("Hello")
```

b

```
1 for i in range(11):  
2     print("Hello")
```

11回

c

```
1 i=1  
2 while i<10:  
3     print("Hello")  
4     i=i+1
```

X

i=1 ~ 9

d

```
1 i=0  
2 while i<10:  
3     print("Hello")  
4     i=i+2
```

i=0, 2, 4, 6, 8

(23) 1から100までの奇数を表示するプログラムを選べ。

a)

1 for i in range(100):
2 print(2*i+1)

$i=0 \sim 99$

b)

1 for i in range(50):
2 print(2*i-1)

$i=0 \sim 49$

-1 ~ X

c)

1 i=1
2 while i<100:
3 print(i)
4 i=i+2

d)

1 i=0
2 while i<50:
3 print(i) ←
4 i=2*i+1

(24) 入力した数字が2の倍数であれば「This is multiple of 2.」と表示し、

また3の倍数であれば「This is multiple of 3.」と表示したい。

つまり、

⟨n = 9のとき⟩

1 This is multiple of 3.

⟨n = 4のとき⟩

1 This is multiple of 2.

⟨n = 6のとき⟩

1 This is multiple of 2.

2 This is multiple of 3.

のように表示したい。このように表示できるものを選べ。

a)

1 n=int(input("INPUT A NUMBER",))
2 if n%2==0:
3 print("This is multiple of 2.")
4 if n%3==0:
5 print("This is multiple of 3.")

b)

1 n=int(input("INPUT A NUMBER",))
2 if n%2==0:
3 print("This is multiple of 2.")
4 else n%3==0:
5 print("This is multiple of 3.")

c)

1 n=int(input("INPUT A NUMBER",))
2 if n%2==0:
3 print("This is multiple of 2.")
4 elif n%3==0:
5 print("This is multiple of 3.")

d)

1 n=int(input("INPUT A NUMBER",))
2 if n%2==0:
3 print("This is multiple of 2.")
4 else:
5 print("This is multiple of 3.")

(25) 以下のコードを実行した際に出力されるものとして正しいものを選べ。

```
1 a=2;b=3  
2 print(a**b)
```

3
2

①

1 6

②

8
2

③

1 a**b

④

1 ab

(26) 以下のコードを実行した際に出力されるものとして正しいものを選べ。

```
1 a=3;b=4;c=5  
2 print(a*b%c)
```

①

1 12

②

1 2

③

1 60

④

1 3

3 × 4 ≒ 5でわった余り

(27) 以下のコードを実行した際に出力されるものとして正しいものを選べ。

```
1 for i in range(5):  
2     print("Hello",3*i)
```

①

1 Hello 1
2 Hello 3
3 Hello 6
4 Hello 9
5 Hello 12

②

1 Hello 1
2 Hello 2
3 Hello 3
4 Hello 4
5 Hello 5

③

1 Hello 0
2 Hello 3
3 Hello 6
4 Hello 9
5 Hello 12

④

1 Hello 3
2 Hello 6
3 Hello 9
4 Hello 12

3 × 6

3 × 1

3 × 2

:

3 × 4 = 12

(28) 以下のコードを実行した際に出力されるものとして正しいものを選べ。

```
1 n=10
2 if n==1:           X
3     print("Hello")
4 elif n%2==5:       X
5     print("Hey")
6 else:              O
7     print("Bye")
```

①

1 Hello

②

1 Hey

③

1 Bye

(29) 以下のコードを実行した際に出力されるものとして正しいものを選べ。

```
1 n=17
2 if n%5==2:
3     print("HAHAHA")   O
4 if n%2==1:
5     print("HIHIHI")   O
6 if n%3==0:
7     print("HUHUUU")   X
```

①

1 HAHAAA

②

1 HIHIHI

③

1 HAHAAA

2 HIHIHI

④

1 HAHAAA

2 HIHIHI

3 HUHUUU

(30) 以下のコードを実行した際に出力されるものとして正しいものを選べ。

```
1 sum=0
2 for i in range(10):
3     if i>5:    +
4         sum=sum+i
5     else:      -
6         sum=sum-i
7 print(sum)
```

6 7 8 9

30

0 1 2 3 4 5

-15

①

15

②

1 16

③

1 25

④

1 6

(31) 以下のコードを実行した際に出力されるものとして正しいものを選べ。

```
1 sum=0;i=0
2 while sum<15:
3     if i%2==0:  0 2 4 6
4         sum=sum+i
5     else:        1 3 5
6         sum=sum+3
7     i=i+1
8 print(sum)
```

0 + 3 + 2 + 3 + 4 + 3 + 6 +
5 8 12 - 15

①

1 12

②

1 13

③

1 15

④

1 16

(32) 以下のコードを実行した際に出力されるものとして正しいものを選べ。

```
1 LIST=[1,3,5,7,9]
2 sum=0
3 for i in range(len(LIST)):
4     if i%2==0:    +
5         sum=sum+LIST[i]
6     else:          -
7         sum=sum-LIST[i]
8 print(sum)
```

15 - 10

①

1 5

②

1 -5

③

1 25

④

1 -25

(33) 以下のコードを実行した際に「10」と出力されるように、【】に当てはまるコードを選べ。

```
1 LIST=[1,3,4,7,8]
2 sum=0 0 1 2 3 4
3 for i in range(len(LIST)):
4     if 【】:
5         sum=sum+LIST[i]
6 print(sum)
```

- ① $i == 1$ ② $1 \text{ LIST}[i] \% 2 == 1$ ③ $i \% 2 == 1$ ④ $i \% 2 == 0$
- X $1 + 3 + 7 = 11$ ○ X
- $1 + 4 + 8 = 13$

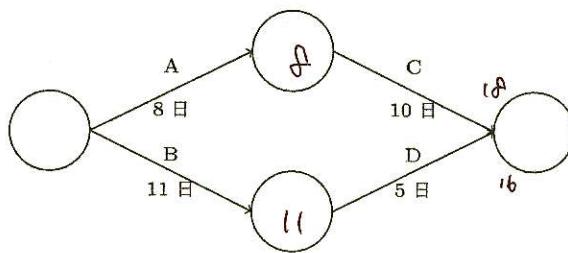
(34) 以下のコードを実行した後、入力を求められたため「5」を入力した。その後の実行結果として正しいものを選べ。

```
1 n=int(input())      n=5
2 sum=0
3 for i in range(n):
4     sum=sum+i**2
5     sum=sum-i
6 print("sum = ",sum+3)
```

$$\begin{aligned} & \bar{i}=0, 1, 2, 3, 4 \\ & 0^2 + (1^2 + 2^2 + 3^2 + 4^2) = 30 \\ & -0 - (1 - 2 - 3 - 4) = -10 \end{aligned}$$

- ① 23 ② $sum = 23$ ③ $24 = 24$ ④ $sum = 24$
- ① は手書き風で、② は丸で囲まれていて、④ は横線で消されている。

(A) 以下の PERT 図について,



(35) 作業工程は、何日かかるか。

- ① 15 日
- ② 16 日
- ③ 17 日
- ④ 18 日

(36) A が 3 日短縮し、B が 3 日遅延した。全体の所要時間の変化として正しいものを選べ。

- ① 1 日遅延した
- ② 1 日短縮した
- ③ 2 日遅延した
- ④ 2 日短縮した

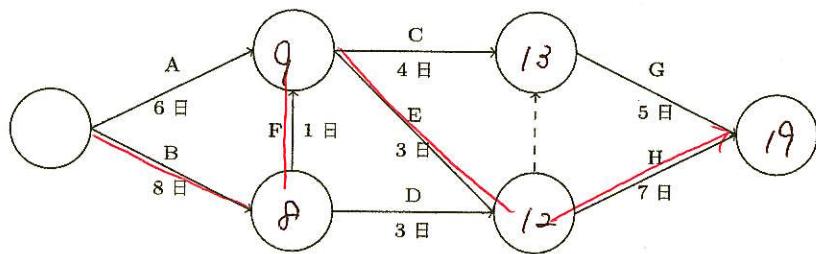
5 10
14 5
19

(37) 元の図の作業 Aにおいて、2日の遅延が発生した。そこで、作業 Cに人員を投入することで、作業時間をもとに戻したい。作業 C には何人の人員を投入すれば良いか。ただし、作業 D C には元々 20 人の作業員が配置されおり、各々の作業効率は変わらないものとする。

- ① 4 人
- ② 5 人
- ③ 6 人
- ④ 7 人

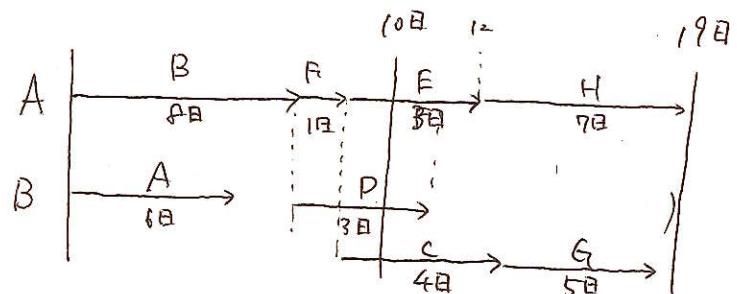
$$\begin{aligned}
 &\text{もと } 20 \text{ 人で } 10 \text{ 日} \\
 &\text{27 人で } 10 \text{ 日. } \rightarrow (\text{人/日}) \text{ 日 } = 0.5 \\
 &\text{5 日で } 10 \text{ 日 } = \frac{10}{0.5} = 20 \text{ /日} \\
 &25 \text{ 人必要. }
 \end{aligned}$$

(B) 以下の PERT 図について



(38) 所要日数は何日か。

- ① 15 日
- ② 17 日
- ③ 19 日
- ④ 21 日



(39) PERT 図をもとに要員計画を立てる。要員数を極力抑え、かつ、最短日数で終えられるよう
に計画を立てる場合、1 日あたりの最大要員数は何名になるか。ここで、各工程は 1 人で作
業するものとする。また、点線の矢印については、ダミー作業（つまり、作業 D, E の完了が
作業 G には必要。）である。

- ① 2 人
- ② 3 人
- ③ 4 人
- ④ 5 人